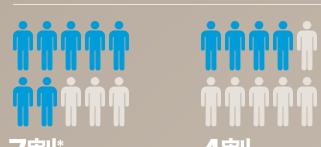
IPPFが提供するサービスの利用者



が貧困層や社会的弱者で、が若者です。 公的サービスの届きにくい 人々です。

過去59年間にわたり、女性と少女は、IPPF の事業の中心を占めています。

IPPFの活動

包括的サービスの提供

より多くの人が、セクシュアル/リプロダクティブ・ ヘルスの情報、セクシュアリティ教育、質の高いサ ービスを入手できるようにする

保健医療システムを強化する

保健医療従事者を育成し、現場の経験を分かち合 い、政策の実施状況を監視し、セクシュアル/リプ ロダクティブ・ヘルスの専門知識を提供する

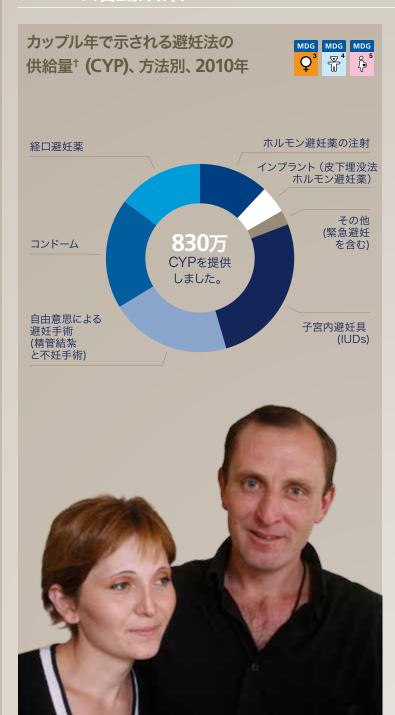
望ましい環境を整える

セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス/ライツを 守り、推進する政策と法律の策定をはたらきか け、提言する



セクシュアル/リプロダクティブ・ライツ は、基本的人権として国際的に認められ ています。

IPPFの活動成果



MDG MDG

Q

3

5

5

カウンセリング

外科的/ 薬剤による 人工妊娠中絶

都市部

人工妊娠中絶関連サービス

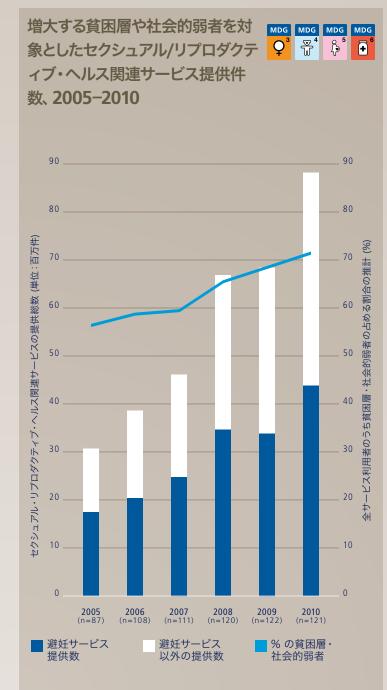
提供数、2010年

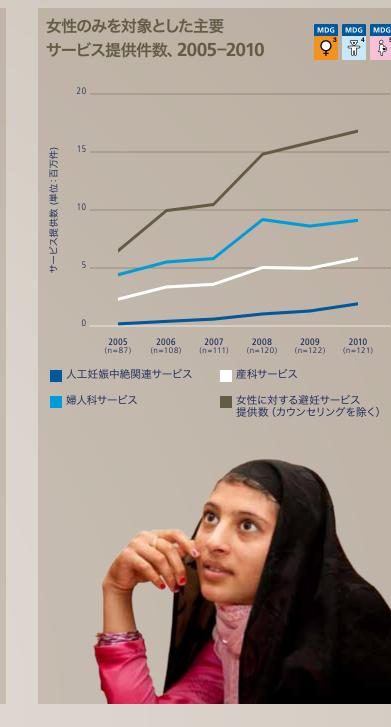
その他

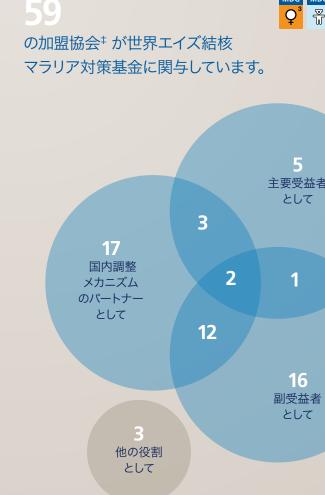
中絶後のケア

中絶後 カウンセリング

IPPFのサービス提供場所

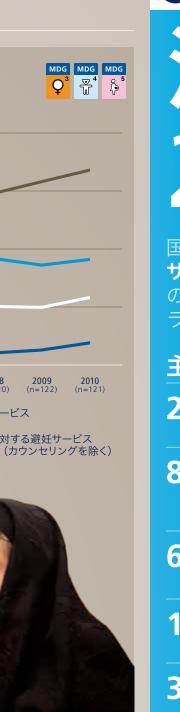






HIV関連サービス提供件数 2005-2010 主要受益者 2005 2006 2007 2008 2009 2010 (n=87) (n=108) (n=111) (n=120) (n=122) (n=121) HIV関連サービス 性感染症/ HIV関連サービス 提供数 (性感染症・ 生殖器系 副受益者 生殖器系感染症 感染症関連 サービス提供数

都市近郊と農村地域



総提供数

2010-11

選ぶこと、そこから広がる可能性

:族計画連盟(IPPF)は、地球規模の サービス提供者であり、世界の全ての人々 のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス/ ライツの主要な政策提言者です。

主な成果

210万

8820万

件のセクシュアル MDG MDG MDG MDG /リプロダクティブ Q³ デ⁴ 🎺 🗜 🗜 サービスを提供しました

62万4千

MDG MDG

Q

3

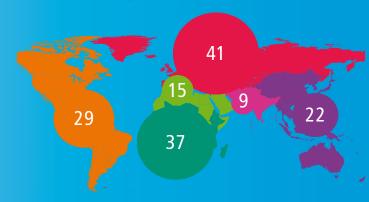
MDG MDG

3300万

人* がIPPFの加盟協会の提供 するサービスを受けました

IPPFとは

153 加盟協会



何百万人にも及ぶ ボランティア 3万人以上のスタッフ

の加盟協会の管理職が女性です

46%

の加盟協会で HIVと共に生きる 人々がボランティアもしくは スタッフとして働いています

の加盟協会でその理事会メンバーの少なくとも2割が若者です

の拠出金が高いニーズを擁する国で使われています 87%



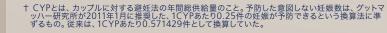






MDG Q³

MDG •



件の

サービスを提供

しました。

、工妊娠中絶関連

IPPFの政策提言活動の成果

2010-11

IPPFは政策提言活動によって、サービスへ のアクセスの拡大、性に関する権利やジェ ンダーの平等の推進、スティグマ(汚名) や差別を減じることに通じる望ましい環境 作りをしています。加盟協会は、セクシュア ル/リプロダクティブ・ヘルス/ライツを守 る**政策や法律の制定に貢献し**たり、改悪を 阻止することによって何百万人もの人々の生 活改善に大きな貢献をしています。

加盟協会は、2005年から2010年の間 に、330件のセクシュアル/リプロダクティ ブ・ヘルス/ライツを守る政策、または法律 の改定に貢献しました。

主要課題に関する政策と法律の改定数:

- 37 避妊とサービスへのアクセス
- 29 ジェンダーに基づく暴力の予防
- 59 安全で合法な人工妊娠中絶へのアクセス
- 28 HIVとともに生きる人々の支援
- 46 若者に対するサービスや教育
- 21 セクシュアル/リプロダクティブ・ ヘルス分野への国家予算配分

ウクライナ

IPPF ウクライナ (WHFP)

ウクライナの安全な人工妊娠中絶に 関するワーキンググループの調整役と して、IPPFウクライナは、同国の中絶に 関する法律に大きく前向きな変化を起 こすために、3年間にわたって活動を続 けてきました。2010年、保健省は、同 ワーキンググループの提案した、権利 に基づく臨床試験計画と、質の高い安 全な中絶へのアクセスの拡大を目的と した意図しない妊娠の包括的ケアに関 する指針を承認しました。これらは、い ずれも従来の法律には欠けていたもの

カザフスタン IPPF カザフスタン (KMPA)

過去5年間にわたり、IPPFカザフスタン は、他のNGOとの協力の下、障がいを 持つ女性がセクシュアル/リプロダクテ ィブ・ヘルスのサービスと情報をより受 けられるようになることの重要性につ いて保健省に働きかけてきました。この ために、医療スタッフの対応やコミュニ ケーション能力の改善の重要性を、保 健省に訴えました。2010年、この努力 が報われ、保健省は、障がいを持つ女 性のアクセス拡大に関する行動計画と 専門家のための設備(診療台)整備の ための予算を承認しました。

モンゴル IPPF モンゴル (MFWA)

2010年にモンゴルの国家保健機関防 災対策計画は改定され、緊急時の「リ プロダクティブ・ヘルスに関する初期ミ ニマム・サービス・パッケージ(MISP)の 提供が含められました。これによって、 女性と少女たちは、災害時にも産科や リプロダクティブ・ヘルスのケアやサー ビスを受けられるようになり、妊婦向 けには清潔な出産用キットが提供され ることになりました。この計画の改定 は、MISPタスクフォースの整備や他の 組織や政府機関との協力などを含む IPPFモンゴルの政策提言活動の結果で す。同加盟協会は、政府関係者や医師 らを対象にMISPについての研修も実施 しました。

IPPF マリ (AMPF)

件の2010年中に実現したセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルス/ライツを守る政策や法の改正に、加盟協会が貢献しました。

マリの加盟協会の政策提言活動によ り、同国の国家保健戦略に、若者の健 康に関する項目が導入されました。同 戦略は、若者のリプロダクティブ・ヘル スを促進し、同分野に悪影響を及ぼす 課題について取り上げています。

ニュージーランド IPPF ニュージーランド (NZFP)

加盟協会の政策提言活動によって、ニュ ージーランドの女性たちは、長期的な 効果があり、中断することも選択できる 避妊法を無償で受けられるようになり ました。同協会は、薬剤を管理する政 府系機関(PHARMAC)、閣僚、国会議 員にはたらきかけ、若い女性に無償で インプラント (埋没法ホルモン避妊薬) を供給することの重要性を訴えました。 その結果、PHARMACは、Jadelle (インプラント)を全額公的補助を受け られる薬剤リストに加えました。

メキシコ IPPF メキシコ (Mexfam)

メキシコの連邦政府議員たちは、1600 万ドル以上を若者のセクシュアル/リプ ロダクティブ・ヘルスの国家プログラム 向けの予算として配分しました。この資 金は、若者向けの避妊具や他の若者に 関する課題への取り組みのために使わ れるものです。また、予算配分は、IPPF メキシコが他の市民団体との協力の下 で実施した、若者のセクシ<mark>ュアル/</mark>リプ ロダクティブ・ヘルス/ライツを国家課 題として採択するように働きかけた政 策提言活動の結果、実現しました。

IPPF アメリカ

米国では、IPPFアメリカが新医療改革

法案の女性の健康に関する項目につい

て政策提言を行い、法案作成に貢献し

ました。その結果、何百万人という低所

得者の女性が、避妊を含む予防のため

のリプロダクティブ・ヘルスのケアを含

む公的保険を有し、さらに無償あるい

は低コストで命を救う乳がん・子宮頸

がん検査を受けることもできるようにな

りました。IPPFアメリカはキャンペーン

活動を通じ、医療改革最終法案に、女

性の健康に関する修正を含めることに

(PPFA)

成功しました。

モーリタニア IPPF モーリタニア (AMPF)

IPPFモーリタニアによる政策提言活動 の結果、同国の宗教指導者は、女性性 器切除を禁止するという「ファトワー」 (宗教勧告)を全国的に発令しまし た。同加盟協会は、同国の「ウラマー」 (宗教指導者)と協力し、 女性性器切除 の有害性についての啓発活動を行いま した。その結果、この慣習の容認を撤回 し、ファトワーの発令を達成しました。 同協会は、国会議員、ジャーナリスト、 地域の有力者とも連携しました。

ウガンダ IPPF ウガンダ (RHU)

2010年、ウガンダで、女性性器切除を 実施したり、この習慣を促進しようとす る者に有罪の判決を言い渡すことを可 能とする法律が承認されました。それ までは、この習慣の根絶を難しくしてき た女性性器切除施術者たちを有罪にす るための法律がありませんでした。IPPF ウガンダは、3年にわたる集中的なレベ ルでの政策提言活動を行い、この重要 な法律の制定を働きかける上で重要な 役割を果たしました。同協会は、女性 大臣・国会議員のネットワークと協力 し、実際に女性性器切除が行われてい る県の地域の指導者の支持と協力を得 ました。

ネパール IPPF ネパール (FPAN)

IPPFネパールは、政府に対して、包括的 なセクシュアリティ教育 (CSE) に関す る参考指導書を認可するよう働きかけ ました。この指導書は他の専門機関と の協力によって策定されたもので、新た に改定された教育カリキュラムにおけ る CSE 分野を教師が教えられるよう にすることを目指すものです。 CSE 分 野には、セクシュアル・ライツ、性の多 様性、ジェンダー、暴力、快感など賛否 が分かれるようなテーマが含まれてい ます。加盟協会は、現在この指導書の 教育現場での活用のため、教師を対象 とした研修を行っています。

アフリカ地域

アラブ地域

東・東南アジア・大洋州地域

電話 +44 (0)20 7939 8200 ファックス +44 (0)20 7939 8300

欧州地域

南アジア地域

西半球地域

2010年中に政策や法の改正 に貢献したり、改悪を阻止 したそのほかの加盟協会

オーストリア

アルメニア

バングラデシュ

ブルガリア

ブルキナファソ

◎ ベリーズ

ボスニア・ヘルツェゴビナ

★ 北朝鮮 デンマーク

ドミニカ共和国

コスタリカ

キューバ

6

インドネシア

● 日本

__ੑੑੑੑ エクアドル エルサルバドル グアテマラ

マラウイ マレーシア

モーリシャス

ケニア きルギスタン

ニカラグア ノルウェー ◎ パラグアイ シー フィリピン

ポルトガル

ルワンダ ▼ セネガル

スウェーデン タジキスタン

④ チュニジア

写真 IPPF/ジェーン・ミンゲイ - グルジア、 2009 | IPPF/ニール・トーマス-カメルーン、 2010 | IPPF/ニール・トーマス-カメルーン (IPPF/ニール・トーマス-カメルーン (IPPF/ニール・トーマス-カメーム (IPPF/ニール・トース-カム (IPPF/ニール・トーマス-カメーム (IPPF/ニール・トーマス-カメーム (IPPF/ニール・トーマス-カメーム (IPPF/ニール・トーマス-カメーム (IPPF/ニール・トーム (IPPF/ニール・トース-カム (IPP